

◇ 昼の部 ◇

◇ 生写朝顔話 明石船別れの段・笑い葉の段・ 宿屋の段・大井川の段

陰謀、お家の危機。出会っては引き離される恋人たち。
二人をつなぐ朝顔の歌。

周防大内家の家臣宮城阿曾次郎と安芸国の武家の娘
深雪は、宇治（京都府宇治市）で出会い、一目惚れ。そこ
へ周防から火急の書状。お家を守るべく帰郷することになり、立ち去る阿曾次郎。深雪に残されたのは、阿曾次郎が朝顔の歌を書いた扇。

明石浦（兵庫県明石市）で風待ちをする船。周防へ向
かう阿曾次郎と安芸へ戻る深雪が再会。とはいえ、乗って
いるのは別々の船。深雪は、阿曾次郎の船に乗り移って一
緒に行こうとしましたが、突然の船出となり、遠ざかる恋人
に扇を投げ渡しました。

その後、阿曾次郎は、伯父の家督を継いで駒沢次郎左
衛門と改名。それを知らない深雪は、駒沢との縁談を拒
み、阿曾次郎を探して流浪し、失明。今では、嶋田宿（静
岡県島田市）で朝顔の歌を歌い聞かせて露命をつなぎ、「朝
顔」と呼ばれています。

その嶋田に、鎌倉から周防へと、主君帰国の先触れの
旅をする駒沢が宿泊。相役の岩代は陰謀に加担し、駒沢
の命を狙う悪者。医者祐仙もその仲間で、しびれ薬を茶に
まぜて駒沢に飲ませようと画策。宿の主人が笑い葉にすり
替えたとは知らず、しびれ薬用の解毒剤をこっそり口にし、
駒沢の前で自信満々の毒味。結果、笑い苦しみ、医者を
呼んでくれと頼むはめに。

その夜、深雪かと気づいて「朝顔」を呼び寄せた駒沢。
恋人がすぐそばにいるのもわからず、朝顔の歌を歌い、身
の上を語って宿を去る深雪。駒沢は、岩代が同席したた
め、深雪に何も告げることができず、翌未明、扇と秘法の目
薬を残して、宿を出立。

その直後、宿に戻った深雪。駒沢が阿曾次郎だと知っ
て、雨の中、大急ぎであとを追ひ、大井川へ。けれども、駒
沢はすでに川を渡ったあと。しかも、増水で川止め。雨を恨
み、目の見えない身を嘆き、死を決意した深雪ですが、駒
沢の薬でたちまち視力は回復、希望を取り戻します。

作者は山田案山子、天保3年（1832）、大坂の稲荷境
内芝居で初演。司馬芝叟^{あさがお}の長話「薨」をもとにして好評を
博した読本や歌舞伎による五段の時代物で、四段目、チャ
リ場（滑稽な場）として知られる「笑い葉」から「大井川」ま
でを中心に上演されています。

◇ 夜の部 ◇

◇ 傾城恋飛脚 新口村の段

罪を犯した息子への老父の情愛と苦悩。

大坂の飛脚屋亀屋の養子忠兵衛は、武家屋敷に届け
ねばならない金で遊女梅川を身請けし、逃走。捕まれば
死罪一。

雪の中、忠兵衛の実父孫右衛門がいる新口村（奈良県
橿原市）に着き、身を潜める二人。雪で転んだ老父を見
ても、忠兵衛は助けに行くこともできない身。梅川の介抱を受
け、事情を察した孫右衛門。息子に会えば、我が手で捕ら
えるか、訴人しなければならず、それが嫌さに、会いたく
ても会うまいとし、息子に自首を、つまり死を求めざるをえない
苦しみ。

親子を会わせてやりたい梅川は、顔を見ないようにと、孫
右衛門に目隠し。手を取りあい、別れを惜しむ親子。

そこへ捕り手。逃げて行く二人。見送る父親の悲しみ…。

実際の事件をもとにした近松門左衛門の『冥途の飛脚』
（1710～11ごろ・竹本座）を、菅専助ほかが改作した上下

二巻の世話物で、安永2年（1773）、大坂の曾根崎新地芝
居において初演。下の巻からの「新口村」は、文楽の代表
的な演目のひとつになっています。

◇ 釣女

狂言でおなじみの太郎冠者、その災難？が笑いを誘う、
楽しい作品。

独身の大名と太郎冠者が、西宮神社（兵庫県西宮市）
の恵比須さまに「妻をお授け下さい」とお願いしたところ、
さっそく、ありがたいお告げ。大喜びしてお告げに示され
たところへ行くと、妻はいなくて、釣竿があるだけ。釣好きな恵
比須さまゆえ、これで妻を釣れとのことか。大名が試すと、
美しい姫が現れました。そして、太郎冠者もみごと釣に成
功、大はしゃぎ。ところが…。

狂言『釣針』による常磐津の歌舞伎舞踊をもとにしたも
ので、昭和11年（1936）、大阪の四ツ橋文楽座で初演され
ました。

料金後納

ゆうメール

公益財団法人文楽協会
〒542-0073
大阪市中央区日本橋 1-12-10
TEL.06-6211-1350 FAX.06-6211-3609

[差出人]
LNET
[返還先]
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋4-1-1 興銀ビル2階
（株式会社広済堂ネクスト）事務局内
LNET郵便代行事務局



2027年度 文楽公演申し込み書

※お申し込み締め切り:2027年10月公演は2026年10月26日
2028年 3月公演は2026年12月18日

公演希望日

公 演 月	順位	希 望 日	公演回数	備 考
10 月 公 演	第 1	月 日()		①公演期日は10月1日～10月21日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第 2	月 日()		
	第 3	月 日()		
3 月 公 演	第 1	月 日()		①公演期日は3月2日～3月20日を予定 ②公演回数は原則として昼・夜2回
	第 2	月 日()		
	第 3	月 日()		

☆全国各地区を順を追って公演しますので、希望日は参考とさせていただき改めて日程調整をさせていただきます。
また土曜日・日曜日・祝日はご希望が多いため要望に添えない場合があります。

公演会場

名 称				
所 在 地	〒 (-)			
連 絡 先	電 話		FAX	

添付資料(添付の場合は○印をつけて下さい)

図 面	有・無	備 考
舞台平面図		
舞台側面図		
照明設備図		
客 席 図		
楽 屋 図		

平台・箱馬数

平台	寸 法	台 数
箱 馬		

主 催 者

ふりがな		ふりがな	
名 称		担 当 者	
課 ・ 係 等		E-mail	
電話・FAX			
ふりがな			
所 在 地			

お申し込み月日

年 月 日

2026年7月

各 位

公益財団法人文楽協会

大阪市中央区日本橋 1-12-10
TEL 06-6211-1350
FAX 06-6211-3609

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、(公財)文楽協会では全国の皆様方に、わが国の代表的な芸能「文楽」を身近に鑑賞していただくために、文化庁ならびに(独)日本芸術文化振興会の助成を得て、毎年10月と3月に「文楽地方公演」を実施しております。

2027年度文楽地方公演は次にご案内いたします馴染み深い演目で全国各地を巡演してまいります。

〈昼の部〉

しょう うつし あさ がお ばなし
生写朝顔話

あ か し ふ な わ か
明石船別れの段

わ ら ぐ す り
笑い薬の段

や ど や
宿屋の段

お お い が わ
大井川の段

〈夜の部〉

け い せ い こ い び きゃ く
傾城恋飛脚

に の く ち む ら
新口村の段

つ り お ん な
釣女

日頃、文楽に親しんでいただく機会の少ない多くのお客様から「浄瑠璃を聞きたい」、「まるで生きているような人形を見てみたい」というお声をたくさんいただいております。

この機会に太夫・三味線・人形三位一体で醸し出す「文楽」のすばらしさをより一層楽しんでいただけますよう、技芸員をはじめ文楽協会一同努めてまいる所存でございます。

日頃から「文楽」に深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに、改めてお礼申し上げますとともに、日本が世界に誇ります伝統芸能「文楽」を、どうぞご当地で開催していただきますよう、心からお願い申し上げます。

敬 具

ぶ ん

らく

文楽

とは

物語を語る「太夫」、情景を音で表現する「三味線」、
一体の人形を三人で遣う「人形」、この三業が
一つとなって舞台から客席へ感動をお届けする、
日本が世界に誇る伝統芸能です。

2027年度上演予定演目

☞ 昼の部 ☞ 午後一時三〇分開演（標準開演時刻）

解 説(あらすじ)

しょう うつし あさ がお ばなし

生写朝顔話

あ か し ふな わか

明石船別れの段

わら ぐすり

笑い薬の段

や ど や

宿屋の段

お お い がわ

大井川の段

生写朝顔話 明石船別れの段

☞ 夜の部 ☞ 午後六時開演（標準開演時刻）

解 説(あらすじ)

けい せい こい び きゃく

傾城恋飛脚

にの くち むら

新口村の段

つり おんな

釣女

釣女

公演期間と地域

2027年
(令和9年)

10月公演
カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2027年 10月1日(金)～10月21日(木)

近畿・中部・北陸・関東・東北・北海道の各方面

※申込締切：2026年 10月26日(月)

2028年
(令和10年)

3月公演
カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2028年 3月2日(木)～3月20日(月・祝)

九州・四国・中国・近畿・中部・関東の各方面

※申込締切：2026年 12月18日(金)

公演契約金

宿泊を伴う場合

◎平日	一日	3,630,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 3,300,000円】
◎土日祝	一日	3,850,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 3,500,000円】

大阪近郊で宿泊を伴わない場合

◎平日	一日	3,190,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 2,900,000円】
◎土日祝	一日	3,410,000円(消費税込) 【消費税抜き本体価格 3,100,000円】

○原則として一日二回公演(昼の部・夜の部)を前提とした公演契約金を表示しています。
ただし、同じ演目を一日二回上演すること、昼の部と夜の部の演目を入れ替えて上演することはできません。
また二日間や三日間続けて上演したいなど、変則的なパターンをご希望の場合はお気軽にご相談ください。

経費負担区分(主な目安)

公演契約金に含まれるもの

- 出演料
- 大道具費
- 大道具人件費(舞台監督料を含む)
- 交通費
- 宿泊費(宿泊を伴う地域のみ)
- 輸送量(通行料も含む)
- 照明プランナー費(1名)
- 字幕機材および字幕オペレーター費
- 著作権使用料(広報用写真素材の支給も含む)
- 出演者および帯同スタッフの食事
- 事務経費
- 消費税

公演契約金に含まれないもの

- 公演にかかる会館使用料・楽屋使用料、付帯設備使用料
および備品借用料(舞台管理経費および増員経費も含む)
- 現地照明費(ピン操作のできる技量の方を3名)※
- 搬出入補助経費(5～6名程度)※
- 本火使用等の所轄消防への禁止行為解除申請手続(使用時のみ)
- 舞台上で使用する現地調達が必要な消え物(使用時のみ)
- 音響経費
- 影アナウンス経費
- 広報および宣伝広告費
- ケータリング費(出演者向けの簡単な茶菓の提供)
- 主催者側スタッフ(現地手配スタッフも含む)の食事
- 券売および公演当日の表方の運営

※主催者様には現地照明係員3名、大道具の搬出入の手伝い5～6名をご手配いただきます。
それぞれの手配ならびに経費は主催者様のご負担となります。



出演者によるあらすじ解説



字幕付き上演



物販用プログラム

公演を成功に導くために

解説・字幕付き はじめての方にもわかりやすいです

- チラシ・ポスターは文楽協会で作成したものを、実費でお分けすることができます。
- 館内広報にお使いいただけるDVDをご用意します。
- 文楽って難しい?そんなイメージが一気に払拭でき、券売にも効果的な事前レクチャーの開催が可能です(日程・料金別途要相談)。

公演のお申し込み締切

【2027年10月公演】締め切り/2026年10月26日(月)

【2028年 3月公演】締め切り/2026年12月18日(金)

主催事業がまだ決まらない…締め切りに間に合わない場合や上記締め切り後でもお気軽にご相談ください。また、予定していた主催事業の急な変更など、スケジュールがうまく調整できればお受けできる場合も多々ございますので、まずはご相談ください。

助成について

本ご案内「文楽地方公演」は文化庁文化芸術振興補助金による助成が採択された場合、全国画一の公演価格で文楽公演を提供することが可能となることを前提としております。本ご案内については全国すべての会場における文楽公演について、一つの助成活動とした上で、助成を文楽協会が申請する予定です。従いまして、本公演をお考えの主催者様におかれましては、同種助成金(音楽堂活性化等)・文化庁助成について申請をされる場合に、文楽公演部分については重複申請とならないようご注意ください。

劇場機構条件

- ※一例ですので、条件に満たない場合はお気軽にご相談ください。
- 舞台間口…8間以上(プロセシウム間口で)
- 舞台奥行…4間以上(どん帳から)
- 舞台袖…1間半(上手・下手ともに)
- 吊り物バトン…4本程度(どん帳線より2間下がったところから舞台奥へ)
- 貴館所有の平台と箱馬の数と寸法をお知らせください。
(間口8間、奥行2間、高さ1尺くらいの二重舞台を組める平台・箱馬が必要です)
- 太夫台を上手客席に張り出します(どん帳ギリから高さ2.1尺、奥行5尺で長さ21尺の台を持ち込みます)ので、その分客席がつぶれることになります。
- 基本的に乗り打ちとなり公演当日の朝9時に仕込みを開始いたします。片付け・撤収には夜の部の上演終了から約1時間30分必要です。
- 4トントラック二台が駐車できるスペースが必要です。

お問い合わせ・お申し込み先

同封「文楽公演申込書」にてお申し込みください。舞台の平面図・側面図・照明設備図・客席図・楽屋図をご同封ください。

〈ご送付・お問い合わせ先〉

公益財団法人文楽協会

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-12-10
TEL 06-6211-1350 FAX 06-6211-3609
地方公演担当 水落 学(みずおち)
e-mail : mizuochi@bunraku.or.jp